



校長室の窓

わ わ かん と がっこうさい

2つの「わ」(輪と和)をみんなで感じ取りたい学校祭

10月28日の学校祭本番が近づいて来ました。小学部1年から4年までは、低学年・中学年ごとにブロックをつくり、そして、小学部5、6年と中学部は伝統芸能班・演劇班・モニュメント制作班・実行委員会の4グループに分かれ、1学期から準備や練習を進めてきました。それ以外にも、小学生・中学生だけでの取組もあれば、小中学生全員での取組もあります。

本年度の学校祭のテーマは、『輪～みんなで作るキズナの和～』です。テーマというのは、運動会のスローガンにあたるものですが、わかりやすくいえば、小中学生みんなだめぎす「めあて」のようなものです。授業のめあてと同じように、テーマも一人ひとりが意識しないと何の意味もありません。小中学生みんなが、気持ちと行動を同じ方向に向け、めざしていくゴールです。

テーマの中の「和」の字には「2つ以上のものが1つに合わさっていく」という意味があります。合唱や合奏などは、その代表的なものです。もっと大きくとらえていくと、さまざまなグループで取り組んできたことをみんながひたむきに発表し合うことで、1つの大きな行事が成り立つ、学校祭という1つの大きな大きな作品が出来上がるという面を大切にしていこうということです。

テーマの頭についている「輪」の字には、どのような思いが込められているのでしょうか。「人の輪」という言葉があるように、輪の字には「みんなの心が1つにつながる」という意味が込められています。少し難しい言葉を使えば、「一体感」ということです。学校祭を通して、小学部の一体感、中学部の一体感、学校としての一体感、さらには保護者や地域の皆さんと学校との一体感を強めていこうという思いが込められているのです。

学校祭のような行事を多くの学校では「文化祭」と呼んでいます。それぞれの学校の文化的活動の発表の場だからです。しかし、福栄小中学校では、あえて「学校祭」という呼び方をしています。学校祭を通して、福栄小中学校として「学校の力」、そして、「学校の雰囲気」が保護者や地域の方にしっかり伝わるといいなと思っています。

残された時間、みんなで作れるだけのことをやって、多くの人が2つの「わ」(輪と和)を心から感じ取ることができる学校祭にしていきたいと思います。



(～ひたむきに、そして楽しく～ 学校祭に向けての練習・準備のひとコマ)